

<目次>

粉乳情報	久しぶりの上昇	… 2-3 頁
バター情報	欧州産 他主要生産地と大きな値差	… 3-4 頁
カゼイン情報	相場上昇	… 4 頁
チーズ情報	欧州産 上昇基調	… 5 頁
ホエイ情報	米国産、欧州産相場 堅調に推移	… 6 頁
乳糖情報	米国産は堅調、欧州産も潮目が変わる	… 6-7 頁
国内情報	2017 年度の生乳生産量 前年比 0.7%減少	… 7-8 頁
主要生産国の現行乳価		… 9 頁
米国駐在員情報	2 月の米国産乳製品輸出量	… 9-11 頁
欧州駐在員情報	EU 政府 脱脂粉乳介入在庫売り渡し・買い入れ状況	… 11-12 頁
出典		… 13 頁

<粉乳情報>

- 脱脂粉乳 久し振りの上昇 -

- 欧州 -

欧州産脱脂粉乳の価格は先月から上昇した。4月19日に行われた政府介入在庫の放出入札では2万9,679トンの応札があり、2万4,066.31トンが落札された。最低落札価格はEUR 1,051/MT。当初と比べ応札・落札量は増加したものの、未だ33万トンもの在庫が残っており、加えて賞味期限が迫っている在庫もある為、需要者はここに来て製造日の新しい製品(新規製造品)を求めている様子。政府介入在庫と新規生産の脱脂粉乳は全くの別物と考えている需要者も多い。

欧州の生乳生産はピークを迎えている。現在は主要国の生産量は順調に伸びているものの、2-3月については天候不順が影響して予想よりも生産量が伸びず、1月からの累計では昨年より1-3%程落ち込んでいる地域もある模様。

上記を背景に供給力も弱まり、相場の上昇に繋がったと考えられる。

欧州産全粉乳の価格も先月に比べ若干上昇。バター相場が上昇したことから乳脂肪源の確保を全粉乳に頼る需要者もいるようで供給にもタイトさが見られる。

- オセアニア -

オセアニア産脱脂粉乳の価格も上昇の兆し。生乳生産のシーズンは終了に向かっており乳量が限られている中でも需要は少なくなく、スポットでの引き合いが増えている。また、欧州産の価格が上昇したことも一つの要因と考えられる。全粉乳の価格も同様に上昇しており、第3-第4四半期積みの引き合いも来ている模様。供給逼迫感が未だ拭えないことから先に在庫を確保しようとする動きが確認できる。ただサプライヤーからのオファーは、今後の乳量も未だ不透明なことから限定的である。

最新のgDTの結果は下記の通り。脱脂粉乳・全粉乳共に上昇。

(2018年4月17日開催、同年4月3日比較)

脱脂粉乳 : USD 1,913/MT FAS(船側渡し価格)、+3.5%

全粉乳 : USD 3,311/MT FAS(船側渡し価格)、+1.0%

- 米国 -

米国のNFDM*の価格も上記2地域と同様に上昇。4月上旬は他2地域と比べて価格競争力があつたものの、直近で国内外の需要が増えた模様で反転した。

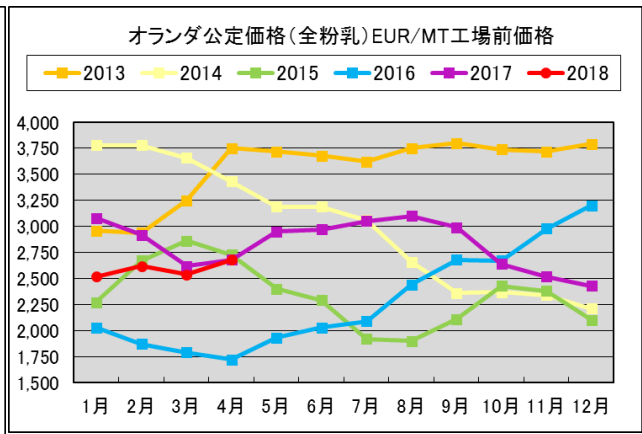
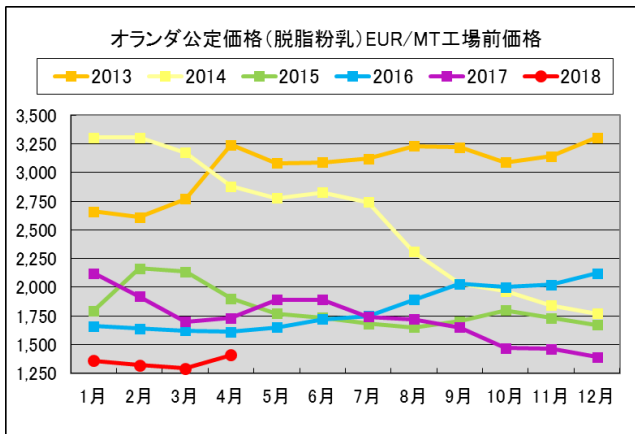
*NFDM : Non Fat Dry Milk (たんぱく非調整脱脂粉乳)

- 今後の展望 -

脱脂粉乳の相場が久し振りに上昇した。EU政府介入在庫をできるだけ安く落札し使用を試みた需要者も(直近ではEUR 501/MTの応札もあった)、賞味期限を考えると新規製造品に切り替える必要がでてきたものと考えられる。

なお、EU政府は賞味期限が迫った在庫については飼料用途として放出される可能性も示唆している。放出入札が開始してから、世界的な脱脂粉乳の相場は欧州産を中心に推移している印象を受ける。直近ではどの地域も相場は上昇したものの、これからもEU政府は放出数量を増やしてき、且つその放出される在庫は現在放出されているものと比べると残りの賞味期限が長い。この場合、再び介入在庫を中心に調達を試みる需要者も出てくることが考えられ、それに比例して価格も下落する可能性は否定できない。

ただ、現在サプライヤーによっては8月積みまで売り切れているところも出てきていることから新規製造分への引き合いが続く直近ではもう一段階価格が上昇する可能性もある。各地域の公定価格を注視しながら、適切なタイミングで調達を心掛けたい。



(現在の粉乳取引価格)

欧州産脱脂粉乳価格 (ADPI EXTRA GRADE)	: USD 1,900~2,200 /MT CFR ASIAN PORTS
欧州産全粉乳価格 (ADPI EXTRA GRADE)	: USD 3,400~3,750/MT CFR ASIAN PORTS
オセアニア産脱脂粉乳価格 (ADPI EXTRA GRADE)	: USD 1,950~2,250 /MT CFR ASIAN PORTS
オセアニア産全粉乳価格 (ADPI EXTRA GRADE)	: USD 3,550~3,750 /MT CFR ASIAN PORTS
米国産脱脂粉乳価格 (ADPI EXTRA GRADE)	: USD 2,000~2,300 /MT CFR ASIAN PORTS

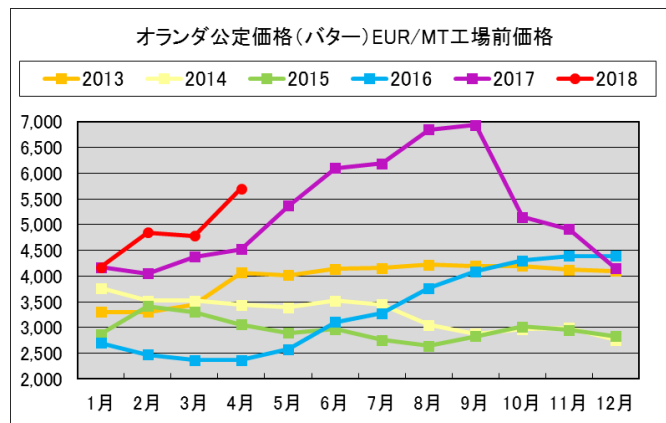
<清水>

<バター情報>

- 欧州産バター価格 他主要生産地と大きな値差 -

- 欧州 -

欧州の乳脂肪相場が急騰している。欧州の生乳生産量は順調であるものの、バターに関しては、脱脂粉乳の介入在庫が過剰に積みあがっているため、製造し難い状況との現地サプライヤー情報。メーカーはチーズとホエイのプロダクトミックスを優先しているとのこと。ニュージーランド(NZ)は天候不順で生乳生産が振るわず、一方で世界的に乳脂肪需要は引き続き強く、このような要因が重なり合って、欧州乳脂肪価格が急騰、かつ今後も上昇していく可能性が高い、との話が聞かれる。



- オセアニア -

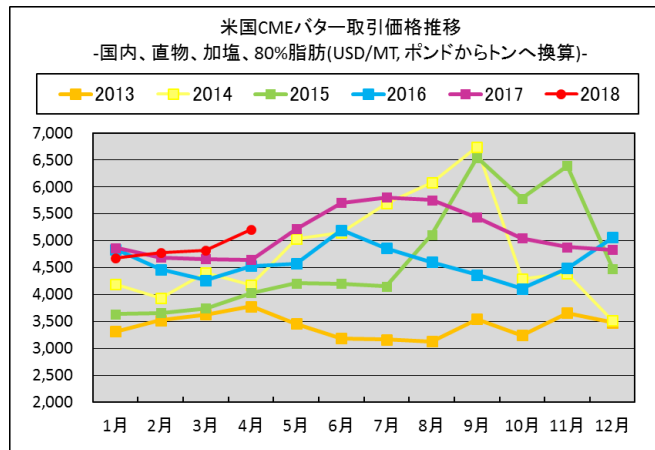
4月のGDTオークションは、バターが続伸、AMFは価格が上下する結果となった。1回目の平均落札価格はバターがUSD5,494/MT FAS(船側渡し)と前回(2018年3月20日)比4.0%上昇、AMFがUSD5,806/MT FASで前回比-7.1%と下落した。2回目の平均落札価格はバターがUSD5,654/MT FASで前回比2.9%上昇、AMFはUSD6,120/MT FASと前回比5.4%上昇した。

Global Trade Atlasの情報によれば、豪州の2018年1~2月のバター輸出量は前年同時期比-5.8%減少している一方で、輸入量は前年同時期比+12.3%と大幅増となっている。NZの2018年1~2月のバター輸出量は前年同時期比-14.0%と大幅に減少している。

- 米国 -

米国相場は上昇したが、欧州産に比べれば依然価格競争力を有している。

2018年1~2月のバター生産量は前年同時期比+3.5%と増加している。3月31日時点のバター在庫量は前年同月比0.4%増の約12万4,000トンとほぼ前年と同水準となった。



2018年4月のバター取引価格

(換算レート EUR/USD1.22)

欧州産バター価格	USD7,600~8,300/MT CFR ASIAN PORTS
NZ産バター価格	USD5,900~6,400/MT CFR ASIAN PORTS
豪州産バター価格	USD5,900~6,400/MT CFR ASIAN PORTS
米国産バター(無塩82%脂肪)価格	USD6,100~6,600/MT CFR ASIAN PORTS

<小瀬村>

<カゼイン情報>

- 相場は上昇 -

カゼイン相場は、4月に入り、上昇局面へと動き出した。

主要産地であるニュージーランド(NZ)では乾乳期に向けて、供給は限定的となっているなか、一部のサプライヤーは余乳をカゼイン以外の生産に向けているとのことで、より一層生産量が限られている。一方で、欧州においては、脱脂粉乳の介入在庫が依然過多状態となっているため、脱脂乳がカゼイン生産に向けられている。結果として、生産量は増加しているものの各メーカーの生産能力に上限もあるため、伸び幅は限定的である。

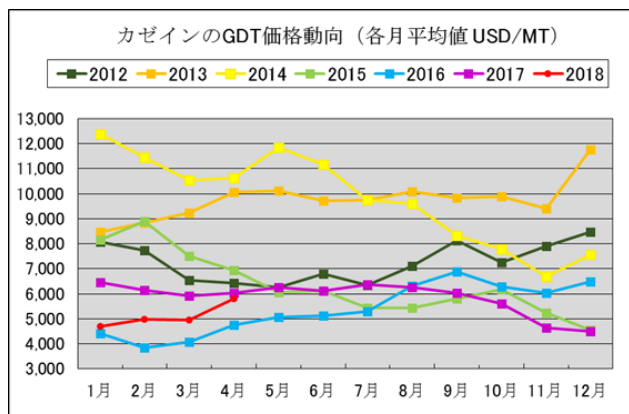
需要面では、第2四半期まで手当てしたところが、消化され始めたため、アジアを中心に第3四半期以降の引き合いが増え始めている。相場については、上記限定された供給のなかで需要が伸びており、価格は上昇傾向となっている。

今後においては、乾乳期に入るNZでの生産量が期待できないことに加え、需要者が値上がる前に下半期の玉をおさえる動きが見られるため、相場は堅調に推移することが予測される。ただ、需要の伸びも一時的な動きと思われ、上がり幅は限定的に推移するものと思われる。

- レンネットカゼインのGDT過去3カ月の落札

価格 -

入札日	カゼイン(単位:MT)
2018年2月6日	USD4,943
2018年2月20日	USD4,980
2018年3月6日	USD5,128
2018年3月20日	USD4,948
2018年4月3日	USD5,668
2018年4月17日	USD5,792



<渡辺>

<チーズ情報>

- 欧州産チーズ輸出量 -

2018年1~2月の欧州産チーズの輸出量は、2017年比2.8%増、2016年比10.9%増で過去2番目に多い12万8,000トンとなった。最大の輸出先国はアメリカであり、全体の14.1%が同国向けに輸出されている。世界中でチーズ需要が高まっている影響で欧州産チーズの輸出量が増加しているが、特にチリ向けが大きく増えている。チリの2016年のチーズ輸入量は約3万4,000トン、その内欧州産は約9,000トンであったが、2017年は輸入量全体で前年比2倍以上の約7万6,000トン、欧州産の占める数量は前年比3倍の約2万7,000トンとなっている。

- 欧州産チーズ相場 上昇基調 -

欧州では2月から3月にかけての大寒波の影響で例年よりも早く春の訪れが遅れている。生乳生産のピークは例年5月後半頃であるが、今年は6月にずれ込む事が予想されている。バター相場が再び上昇し始めており乳脂肪需要が高まっている事に加えて欧州域内のチーズ需要は依然として堅調であり、一部の地域ではチーズの供給が追いついていない模様。斯様な状況から、欧州産チーズ相場は上昇基調となっている。

- 中国 2017年チーズ輸入量 -

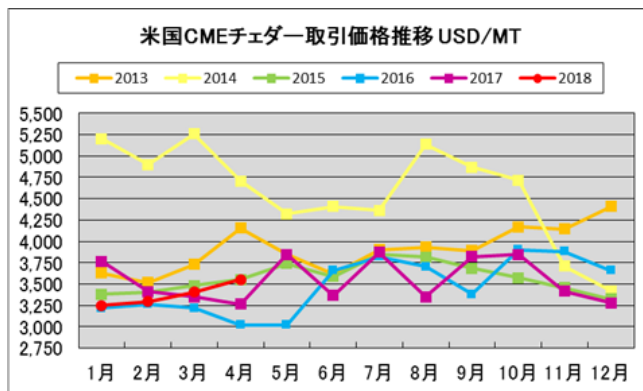
2017年の乳製品全体の輸入量は全品目において増加しているが、チーズの輸入量は前年比12%増の10万8,000トンであった。主要産地の輸入量内訳は以下の通り。

ニュージーランド(NZ):54,900トン(前年比+7%)、豪州:21,100トン(+6%)、米国:12,900トン(+44%)
デンマーク:4,100トン(+32%)、イタリア:3,300トン(+27%)

- 米国 CME 相場 -

2018年4月のCMEスポット相場は前月よりも高い水準での値動きとなった。4月11日には月中最高値となるUSD3,615/MTまで上昇し、4月25日時点のUSD3,550/MTは昨年同月比USD280/MTの上昇となっている。

また、4月17日に行われたGDTオークションでチェダーの平均落札価格が前回比4.6%増となった影響で、CME先物相場においても全体的に上昇基調となっている。



<近藤>

<ホエイ情報>

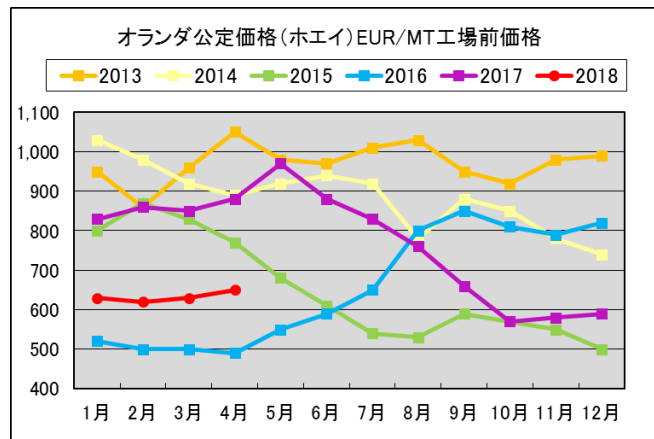
- 米国産、欧州産相場 堅調に推移 -

米国産ホエイパウダー相場は、前月に引き続き、ゆるやかな上昇傾向にある。依然として中国や東南アジアの需要が強い状況である一方、米国内の需要はやや停滞気味であり、サプライヤーが積極的にオファーを出すも、需要家の在庫が十分にあり、うまく捌けてないケースもある様子。

欧州産ホエイパウダー相場も米国同様に上昇傾向にある。通常5月をピークとして生乳生産量が減少することから、引き合いが増加すれば更に相場は上昇する可能性があり、注意が必要であろう。但し、需要家の一部は在庫の積み増しが十分に出来ており、引き合いにはそれほど積極的ではないという情報もあることから、相場上昇は限定的と見込まれる。

米国産 WPC-34 の相場は上昇傾向で推移しているが、一部の安値スポット取引が相場を引き下げている状況。依然として育児粉乳用途等の規格が厳しい製品については、供給がタイトであることから高値安定で取り引きされている。一般的規格の WPC-34 については、安値で取引されている NFDM/脱脂粉乳や、在庫が重く価格が下がりがつつある WPC-80 の影響で相場は安定していない。

<高野>



<乳糖情報>

- 米国産は堅調、欧州産も潮目が変わる -

- 欧州 -

欧州産乳糖相場は、低調であった前月とは異なり、潮目が変わってきている。天候不順の影響から、春先の搾乳量回復は遅れているものの、徐々に生産量は増え始めている。またチーズの生産増が続いていることから、ホエイと乳糖の生産も安定。よって供給も、安定している。需要面では、脱脂粉乳の生産が前年比較で、わずかながら増加して、たんぱく調整用途での乳糖需要も伸びている。その結果、低調な状況から回復基調に転じた。

今後の乳糖相場については、乳量が徐々に伸びており、チーズ生産も順調なことから、乳糖の生産量も増加するものと思われる。ただ、需要面では、依然として脱脂粉乳の EU 政府介入在庫は高水準なものの、大部分が賞味期限間近で、食用での販売は困難になってきている。そのため食用脱脂粉乳の生産増加に伴い、たんぱく調整用途での乳糖需要が強まっていくと思われる。欧州産乳糖相場は、緩やかに上昇していくものと考えられる。

- 米国 -

米国産乳糖相場は、堅調である。好調を維持している生乳生産とチーズ生産から、ホエイ・乳糖の生産も順調で、供給は安定している。3月の生乳生産量は昨年対比1.5%増、2月のチーズ生産量は昨年対比4.2%増、乳糖生産量は2.3%増となった。また需要面では、国内外問わず需要が強まっており、特に中国向けなどの育児粉乳用途での引き合いが依然として強い状況。過剰気味であった米国内在庫は Q2 の契約から相当量が解消されてきており、前月対比で7.3%減と在庫が減少する結果となった。一部では在庫量が1ヶ月分の生産量を下回るメーカーも現れ、タイト感は強まっている。

国別乳糖輸入量:3月時点での累計(単位/トン)			
	2017	2018	(%)
オランダ	2,122	1,422	-33
フランス	258	204	-21
ドイツ	3,565	3,592	0.8
カナダ	767	1,048	37
米国	11,354	10,716	-6
豪州	0	0	-
ニュージーランド	658	819	24
その他	534	358	-33
合計	19,258	18,158	-6

今後は、5月頃にピークを迎える生乳生産や国内外の強いチーズ需要に支えられ、乳糖の生産も好調を維持していくものと予想する。しかしながら、今後相場が上昇し続けると考えているユーザーが多いことからQ3の契約に需要が集中すると考えられ、米国産乳糖相場については、大幅な上昇は考えにくいものの、引き続き上昇するものと予想する。

- 米国からの乳糖輸出量(2018年2月) -

1. 中国	15,729	トン
2. メキシコ	5,989	トン
3. ニュージーランド	5,144	トン
4. 日本	4,279	トン
5. インドネシア	2,477	トン
6. インド	1,915	トン
7. 韓国	1,852	トン
輸出量総計	64,323	トン

- 米国の乳糖生産量と在庫量(2018年2月) -

乳糖生産量	39,371トン	前年比 2.3%増
月末在庫	53,161トン	前年比 3.5 %増

<柴崎>

<国内情報>

- 2017年度の生乳生産量 前年比0.7%減少 -

- 生乳生産 -

農林水産省が発表した2018年3月の全国生乳生産量は63万9,271トン。前年同月比0.8%増となり5ヶ月連続で前年を上回った。地域別では北海道が33万9,673トンで前比2.7%の増である一方、都府県は29万9,598トンで同比1.3%の減少となった。

2017年度累計の生乳生産量は、前年度比0.7%減の729万810トンとなり、2年連続の減産となった。2017年11月から2018年3月までの5ヶ月間、北海道の好調な生産量を理由に前年を上回っていたが、年度前半の減産量を補うことができなかった。

J-Milkが本年1月に発表した2018年度の生乳生産量の見通しによると、北海道397万トン、都府県327万トン、全国合計では2017年度をやや下回る725.6万トンとなり前年度比99.5%。見通しの状態ではあるものの、2018年度も減少となると、3年連続の減少となる。

- バター -

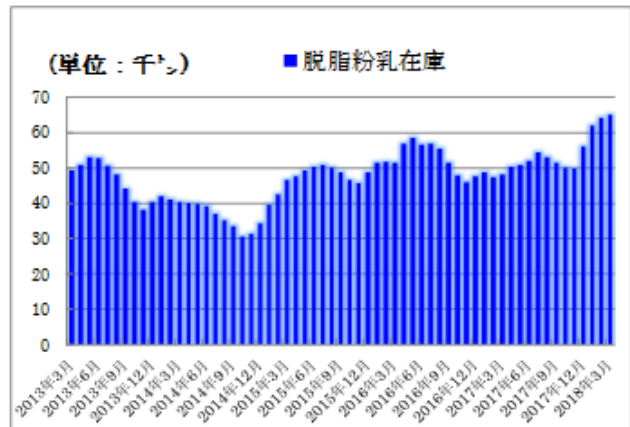
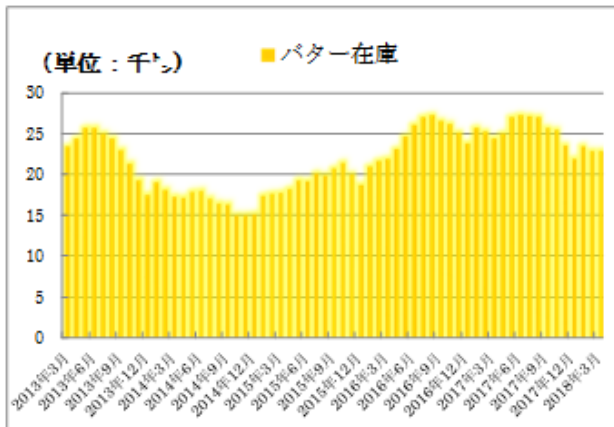
農林水産省が発表した2018年3月のバター生産量は、6,330トンで前年同月比4.1%増、在庫量は2万2,985トンで同比6.1%減となった。

農畜産業振興機構(ALIC)の発表によると、国内乳業メーカーなど13社における2018年2月末のバター在庫は2万2,006トンで、前年比9.8%減となった。同月末の在庫量としては、過去5年間の平均を5%ほど上回った。

- 脱脂粉乳 -

農林水産省が発表した2018年3月の脱脂粉乳生産量は、1万2,273トンで前年同月比0.3%減、在庫量は65,145トンで同比34.7%と先月に続き大幅増となっている。

ALICは、4月26日脱脂粉乳のSBS入札4,000トンを実施し、応募数量2,064.8トンで競争倍率は0.52倍。輸入業務委託入札の落札平均価格は1kgあたり、325.496円で、売り渡し入札の落札平均価格は550.841円となった。脱脂粉乳の次回の入札(SBS方式)は既に発表されており、入札日6月21日、入札数量4,000トン。



生乳生産量(2018(平成30)年3月)(単位:千トン)

	生乳生産量	牛乳等向け	乳製品向け		その他
			内業務用		
平成29年度	639	319	27	315	3.9
前年比	100.8%	99.1%	103.0%	102.7%	97.5%

2017(平成29)年度、バター-の需給予想(単位:トン)

	生産量	前年比	消費量	前年比	在庫量	前年比	月数
第1四半期	16,762	91.4%	15,614	99.2%	27,329	104.5%	4.6
第2四半期	12,598	87.6%	15,365	110.3%	27,062	101.7%	4.6
第3四半期	13,454	97.0%	27,170	110.5%	21,946	91.9%	3.7
第4四半期	17,273	101.6%	18,941	115.5%	25,478	104.1%	4.3
合計	60,087	94.5%	77,090	109.1%	25,478	104.1%	4.3

在庫量はカレントアクセスによる輸入バター(民間)を含む

2017(平成29)年度、脱脂粉乳の需給予想(単位:トン)

	生産量	前年比	消費量	前年比	在庫量	前年比	月数
第1四半期	32,644	97.2%	36,643	110.1%	53,700	94.6%	4.3
第2四半期	25,272	92.9%	35,887	97.2%	53,085	103.3%	4.3
第3四半期	30,261	101.5%	30,757	86.6%	56,089	117.7%	4.5
第4四半期	33,406	101.6%	45,379	128.4%	50,116	104.0%	4.3
合計	121,583	98.4%	148,666	105.4%	50,116	104.0%	4.3

在庫量はカレントアクセスによる輸入脱脂粉乳(民間)を含む

<増田>

<主要生産国の現行乳価>

	円換算乳価※1	適用期間	直近の乳価
日本	¥96.89/ℓ	2018年2月	¥93.98/kg※2
ドイツ	¥47.47/ℓ	2018年2月	EUR34.88/100kg
オランダ	¥48.65/ℓ	2018年2月	EUR35.75/100kg
アイルランド	¥47.54/ℓ	2018年1月	EUR34.93/100kg
米国	¥39.89/ℓ	2018年1月	USD16.10/100ポンド(100ポンド=45.3592kg)
豪州	¥35.94/ℓ	2017/18年度	AUD5.60/kg MS(乳固形 kg あたり)
NZ	¥39.00/ℓ	2017/18年度	NZD6.55/kg MS(乳固形 kg あたり)

※1 生乳1リットルあたりに換算した概算価格。生乳比重は1.031で計算。

※2 総合乳価。用途別に異なる乳価の総加重平均の価格で、実際に酪農家に支払われた乳代。消費税抜き。

※3 為替レート EUR=¥132.00 USD=¥109.00 AUD=¥83.00 NZD=¥77.00

<出典> 日本:農畜産業振興機構 EU:European Commission 米国:CLAL 豪州:Murray Goulburn HP NZ:Fonterra HP

<米国駐在員情報>

- 2月の米国産乳製品輸出量 -

1月に引き続き2月における米国産乳製品の輸出も総じて好調であった。バター/乳脂肪は前年同月比19.8%増の2,225トン、チーズの輸出量は前年同月比6.8%増の2万8,193トンであった。フレッシュチーズの輸出量は2.6%減の8,444トンであった一方で、チェダーチーズの輸出量は13.8%増の4,404トンとなった。この輸出量は過去5年の平均輸出量である4,495トンに僅かに及ばない輸出量となっている。チーズの輸出においては、特にオーストラリアへの輸出量が増加しており、前年同月比209%増と全体の輸出量増加に繋がった。脱脂粉乳(NDM)の輸出量は2月単月の数字としては、2008年以来最高となった。輸出量は、前年同月比27.4%増の6万6,284トンとなり、単月の輸出量においても2016年10月以来最高となった。輸出先については特にインドネシア、ベトナム、ペルーへの輸出量が増加した。全脂粉乳の輸出も好調な状態が続いており、輸出量は前年同月比162%増の2,315トンとなった。ホエイパウダーの輸出量も増加した。輸出量は前年同月比28.7%増の1万9,295トン。主な輸出先は中国、東南アジアであった。WPC(タンパク質含有量80%未満)の輸出量は前年同月比0.9%増の1万1,895トンとなった。他の製品の増加率と比較すると増加率は少ないが、2月単月の輸出量においては過去最高を記録した。WPC/WPI(タンパク質含有量80%以上)も2月単月における過去最高の輸出量となった。輸出量は前年同月比4.2%増の3,133トンであった。

- 2月の乳製品輸入量 -

米国農務省(USDA)によると米国における2月の乳製品輸入量は前年同月と比べて減少した。特にバターの減少が顕著で、前年同月比7.5%減の3,314トンの輸入量となった。米国のバター輸入における主要相手国は5ヶ国であるが、2月において最も輸入量が多かったのはアイルランド産バターで前年同月比31%増。この増加はコストコがアイルランド Kerrygold 社のバターの店舗販売を始めたのが大きな要因のひとつとなっている。

メキシコからの輸入量は24%増加した。その他、NZからの輸入量は71%減、ドイツは5%増、フランスは7.7%減と

増減まちまちであった。チーズの輸入量も減少し、前年同月比 1.6%減の 1 万 2,167 トンとなった。この輸入量は米
 国産チーズ価格が高騰し、輸入量が増えた 2016 年と比べると 66%の減少となる。米国においては、イタリア産、
 次いでフランス産チーズの輸入量が最も多くなっている。2 月におけるイタリアからの輸入量は前年対比 40.6%増
 の 2,452 トンであったが、フランスからの輸入量は、11.7%減の 1,226 トンとなった。チーズの輸入においては主要
 相手国 10ヶ国のうち 9ヶ国が欧州となっている。10 番目の相手国であるニカラグアよりの輸入量は僅か 454 トン
 となり、前年対比 11.2%の減少であった。

WPC、WPI の輸入量は前年対比 30.74%減と激減した。ノルウェーからの輸入量は 10%増加したものの、NZ からの
 輸入量が 54%減となり、全体では大きく減少という結果となった。

- カリフォルニア州の生乳生産量 -

California Department of Food and Agriculture によると米国最大の生乳生産地であるカリフォルニア州の集乳
 量が減少傾向にある。カリフォルニア州の 2017 年の生乳生産量は約 1,800 万トンとなり、2016 年比較 1.7%減と
 なった。2016 年においても 2015 年と比較して、1.1%減少している。1,800 万トンの生産量は全米生乳生産量の内
 18.5%を占めているが、2016 年の 19%を下回る形となった。

生産量の減少は乳牛頭数の減少と 1 頭当たりの搾乳量がともに減少したことが要因となっている。頭数は前
 年比 0.2%減の 1,749 千頭となり、1 頭当たりの生乳生産量は 1.5%減の 10,329kg。カリフォルニア州の生乳生産量
 は世界的に乳製品への需要が高まり、乳価が高騰した 2014 年が過去最高であった。2017 年の乳価は 2016 年よ
 りも高い水準となっているが、生乳生産量は 2016 年と比べて減少している。

- 3 月の主要 23 州生乳生産量 -

米国農務省(USDA)の発表によると 3 月の主要 23 州の生乳生産量は 808 万 1,200 トンで前年同月比 1.5%増と
 なった。先月発表の 2 月の生乳生産量は前年同月比 1.8%増の 721 万 8,600 トンに修正された。

主要 23 州における 3 月の一頭当たりの平均搾乳量は約 925 キロで前年同月を約 10 キロ上回った。この搾乳
 量は統計を始めた 2003 年以来 3 月単月の数値としては過去最高となった。

主要 23 州における 3 月の平均乳牛頭数は 874 万頭と発表され、前年同月比 2 万 9,000 頭増、前月比 2,000 頭
 減となった。

- 2018 年 3 月主要州別生乳生産量(前年同月比) -

カリフォルニア州	1,632,584 トン	+2.7%	(+43,130 トン)
ウィスコンシン州	1,179,946 トン	±0.0%	(+454 トン)
ニューヨーク州	573,402 トン	-1.2%	(-6,810 トン)
アイダホ州	569,770 トン	+4.0%	(+21,792 トン)
テキサス州	506,664 トン	+4.8%	(+23,154 トン)
ミシガン州	440,834 トン	+0.8%	(+3,632 トン)
ペンシルバニア州	437,202 トン	-0.3%	(-1,362 トン)
ミネソタ州	382,268 トン	-1.1%	(-4,086 トン)
ニューメキシコ州	335,960 トン	+1.9%	(+6,356 トン)
ワシントン州	258,326 トン	+3.3%	(+8,172 トン)

- 2018 年 2 月米国産主要乳製品生産量 -

バター	76,557 トン	前年同月比 +4.7%	前月比 -7.4%
チーズ	445,666 トン	前年同月比 +4.2%	前月比 -10.5%
(うちアメリカンタイプチーズ)	180,075 トン	前年同月比 +6.1%	前月比 -8.5%

(うちイタリアンタイプチーズ)	192,461トン	前年同月比 +4.3%	前月比 -10.6%
NFDM(食用)	71,959トン	前年同月比 +12.1%	前月比 -1.1%
SMP	16,565トン	前年同月比 -8.9%	前月比 -20.3%
ホエイパウダー	40,593トン	前年同月比 +14.6%	前月比 -1.0%
WPC	18,130トン	前年同月比 +10.7%	前月比 -8.1%
乳糖(食用、餌用)	39,399トン	前年同月比 +2.3%	前月比 -8.5%

- 2018年2月末米国産主要乳製品在庫量 -

バター	125,751トン	前年同月比 +3%	前月比 +22%
チーズ	596,631トン	前年同月比 +7%	前月比 +3%
(うちアメリカンタイプチーズ)	346,287トン	前年同月比 +2%	前月比 +3%
NFDM(食用)	147,090トン	前年同月比 +23.6%	前月比 +5.5%
ホエイパウダー	40,227トン	前年同月比 +14.6%	前月比 -1.8%
WPC	36,865トン	前年同月比 +37.5%	前月比 -5.4%
乳糖(食用、餌用)	53,187トン	前年同月比 +3.5%	前月比 -7.3%

- 2018年3月末バター、チーズ在庫量 -

バター	124,193トン	前年同月比 ±0%	前月比 +3%
チーズ	602,744トン	前年同月比 +5%	前月比 +1
(うちアメリカンタイプチーズ)	349,245トン	前年同月比 ±0%	前月比 +1%

<在ロサンゼルス Lacto USA Inc. 佐藤、土屋>

<欧州駐在員情報>

- EU 政府 脱脂粉乳介入在庫売り渡し・買い入れ状況 -

4月17日に行われた脱脂粉乳介入在庫の放出入札では、入札対象数量9万952トンに対して9万1,855トンの応札があり、過去最高の2万4,066トンが落札となった。落札最低価格は前回のEUR1,050/MTとほとんど変わらずEUR1,051/MTであった。次回入札は5月15日で、対象数量は11万5,112トンを予定している。脱脂粉乳の介入在庫数量は未だ33万トンを超えるレベルにある。

脱脂粉乳介入在庫の買入は、一定量まで固定価格で自動的に買い入れ、それを超過する部分は入札方式で行うものであった。2017年度(2017年3月～9月)の自動買入数量は10万9,000トンで、買入固定価格はEUR1,698/MTであったが、2018年1月31日付で自動買入システムの一時廃止が決定され、買入は入札方式のみで行われることとなった。自動買入方式が廃止されて以降、1回目(3月20日開催、応札数量:1,349トン、応札価格:EUR1,349～EUR1,650/MT)、2回目(4月17日開催、応札数量:1,238トン、応札価格:EUR1,300～EUR1,650/MT)の入札ではいずれも全量不落となっており、本年は脱脂粉乳の買入れがされる可能性は低いだろうとの一部欧州乳業関係者の声もある。

EU 介入在庫放出入札結果（単位:MT）

入札日	入札対象数量	応札数量	落札数量	応札価格	最低落札価格
2016年12月13日	22,150	19,707	40	EUR 1,751-2,200	EUR 2,151
2017年1月3日	21,962	11,914	0	EUR 1,651-1,961	-
2017年1月17日	21,962	7,490	0	EUR 1,550-1,900	-
2017年2月7日	21,962	1,796	0	EUR 1,550-1,850	-
2017年2月21日	21,962	1,386	0	EUR 1,400-1,803	-
2017年3月7日	21,962	136	0	EUR 1,650-1,668	-
2017年3月21日	21,962	336	0	EUR 1,400-1,668	-
2017年4月18日	21,962	240	0	EUR 1,380-1,632	-
2017年5月16日	21,962	240	0	EUR 1,380-1,634	-
2017年6月20日	21,962	1,340	100	EUR 1,380-1,850	EUR 1,850
2017年7月18日	21,862	120	0	EUR 1,680-1,750	-
2017年9月19日	21,862	40	0	EUR 1,593-1,593	-
2017年10月17日	21,821	1,790	40	EUR 1,201-1,440	EUR 1,440
2017年11月21日	21,780	33,195	40	EUR 800-1,390	EUR 1,390
2017年12月12日	21,740	13,472	0	EUR 801-1,300	-
2018年1月16日	101,061	25,764	1,864	EUR 700-1,350	EUR 1,190
2018年2月20日	99,196	35,465	4,337	EUR 650-1,270	EUR 1,110
2018年3月20日	95,079	37,712	4,127	EUR 501-1,121	EUR 1,050
2018年4月17日	90,952	91,855	24,066	EUR 501-1,705	EUR 1,051

<アムステルダム駐在 Lacto Europe B.V. 吉田>

お問い合わせ先:
株式会社ラクト・ジャパン
webmaster@lacto-japan.com

出典:
AGRA EUROPE 各誌
Dairy Dairy Report
Dairy Industry Newsletter
農畜産業振興機構“畜産の情報”
AMS Dairy Market News
日刊酪農乳業速報
Rice Dairy
NZ Herald
Stuff.co.nz
食品産業網
Weeklytimes
USDEC Export Trade Data
Global Trade Information Service
USDA's Dairy Market News
Australian Financial Review
食品産業サイト
経済日報
東方ネット
長三角乳業

ディスクレーマー

1. 株式会社ラクト・ジャパン(以下「当社」といいます。)は、「乳製品情報」(以下「当資料」といいます。)に記載されている情報については相応の注意を払っておりますが、その内容の完全性、正確性、適切性等について、いかなる保証も行うものではありません。そのため、当資料に記載されている情報・資料を利用するなどの、利用者の行為に関連して生じたあらゆる損害等について、理由の如何に関わらず、一切責任を負いません。また、当記事に記載されている情報には、第三者が提供しているものが含まれていますが、当社は、その内容の正確性等については一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
2. 当社は、事前に予告することなく、当記事の内容を変更等することがありますが、それに関連して生じたあらゆる損害等について、理由の如何に関わらず、一切責任を負いません。
3. 当社の許可なく当該情報の一部または全体を転載、二次使用すること、ならびに当該お客様以外に開示することは固くお断りいたします。